2022 年度
第 44 号

# 体育市民連帯
# ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1

運動だけでも大変
VS
勉強は学生の本分

2

勉強する保護者＝
最高のペースメーカー
選手保護者アカデミー

3

現金封筒疑惑
野球部監督
上納がなければ
生徒訓練差別

4

ボート部コーチ
1 年 6 ヵ月懲戒無効
裁判所
釜山市体育会懲戒権乱用

5

飲酒選手放出
の早い決断
選手の状況＋社会的認識
が考慮された

ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号　TEL 02-2279-8999

체육시민연대

体育市民連帯 ニュースレター 2022 年 第 44 号 2022.11.8

## 01 聯合ニュース 2022.11.06 行き場のない学生選手たち 「運動だけでも大変」vs「勉強は学生の本分」

「うちの子は夜明けから夜遅くまで訓練時間でいっぱいです。 へとへとになって授業に入ると、目を開けているのが耐え難いほどです。 一般学生と同じ物差しで学力基準に達しない場合、体育活動資格を剥奪するのは子供たちの基本権侵害ではないですか」(ソウル体育中フェンシング部の子供を持つ保護者の金ナウン氏)

「なぜまだ学生選手たちがこんなに死ぬほど運動しなければならないのかわかりません。 これは「運動選手は運動だけ頑張ればいい」という過去の認識が依然として刻まれているためです。 なぜ全国体育大会で高等部が存在しなければならないのですか」(ハン·テリョンスポーツ政策科学院首席研究委員)

10 月 25 日、ソウル中区プレスセンターで開かれた教育部主催の「学生選手学習権保護制度改善方案」公開討論会では学生選手の学習権保障を巡り激論が交わされた。

保護者たちは「趣旨は共感するが、現場の実情とはかけ離れている」と声を高めた。 反面、教育関係者たちは「子供たちが正常な学校生活ができるよう環境を造って進まなければならない」と対抗した。

これまで学生選手の学習権保障は五輪やＷ杯など国際競技での成績を理由に後回しにされがちだった。

しかし、プロに進出できなかった人が新しい進路探索に困難を経験し、「第 2 の人生」を探してさまよう引退選手が増え、学生選手の学習権を保障しなければならないという声が絶えなかった。

これは学生選手の年間大会出場日数を制限する制度である出席認定制基準が 2019 年 63～64 日から 2020 年 20～40 日、2021 年 10～30 日と毎年強化された理由でもあった。 今年は小学校 5 日、中学校 12 日、高校 15 日まで減った。

一定成績以上を得られなかった学生選手は、国や地方自治体、体育団体などで開催する競技に出場できない最低学力制度 2024 年 3 月施行を控えている。

**◇ 「学業と運動を並行するには 24 時間では足りない」**

高校野球部 1 年生の息子を持つアン·ジンウォン氏は公開討論会で「大学修学能力試験を控えた学生が体力テストに脱落すれば修学能力試験を受けられないという規定があるのか」と問い詰めた。 なぜ運動する学生にだけ成績を理由に試合出場に対する足かせをはめるのかということだ。

アン氏は「運動する学生も勉強しなければならないという趣旨には同意する」としながらも「しかし現制度は現実とはあまりにもかけ離れている」と話した。

彼は「運動を終えた後に眠気が降り注ぐ子供たちの代わりに保護者たちは(オンライン授業である)『イースクール』を受講している」とし「自発的に机の前に座るよう誘導するためにはムチだけを振り回すのではなく、適切なニンジンを握りながらインフラ構築に乗り出さなければならない」と指摘した。

アン氏は「大多数の運動部宿舎には読書室どころか机さえ探すのが難しい」とし、「学生選手の脆弱科目補強のための放課後教師導入や補充システムが必要だ」と話した。

大韓体育会学校体育委員会のキム·テクチョン委員長（元首都女子高校教師）は、「現在の出席認定制と最低学力制は、まるでベッドより背が高ければ足や髪を切り、小さければ手足を掴んで伸ばして殺したギリシャ神話のプロクルステスのようだ」とし、「一括的な基準を打ち出すよりは、生徒自ら『勉強するか、運動するか』を選択できるようにするが、足りない部分を補うのが国家の役割」と強調した。
現実的に訓練と大会出場、学習などを並行することは不可能だという指摘もある。
韓国スポーツ政策科学院のソン·ボンジュ首席研究委員は「韓国の学生選手が消化する一週間平均訓練時間が 27 時間に達する」として「これはドイツなどスポーツ先進国より 2 倍を越える量」と説明した。
国家人権委員会が 2019 年学生選手 6 万 3 千人余りを対象にアンケートした結果によると、一日平均運動時間が 3 時間以上だと答えた比率は小学生 49.1%、中学生が 62.3%、高校生が 82.8%で上級学校に進学するほど高くなった。
週末にも運動すると答えた割合も小学生 71.8%、中学生 80.1%、高校生 83.1%に達した。

**◇ 「現実的な困難はあるが、勉強をやめてはならない」**

一方では運動と勉強を並行するのが難しいということに共感するが、学生がペンを置いてはならないという声が出ている。
サッカー部とフェンシング部、ローラー部など 3 種目の運動部を運営するソウル中京高校のキム·スンギョム校長は公開討論会に参加し「学生選手に勉強を強調する理由は最小限の基礎学力を習得し、いかなる分野でも幸せな人生を主体的に築いていけという趣旨」と話した。
キム校長は「勉強と運動を並行しにくいのは類例のない長い訓練時間のせい」とし「科学的な方法を通じて運動時間を最小化し効果的な競技力を引き出すべきだ」と主張した。
ソウル中央高校野球部出身で、現在成均館大学スポーツ科学科入学を準備中のユン·ジュンソンさん（20）は、「大学入試に合格すれば任用試験を準備して教師になりたい」とし、「小学校の時からずっと野球をしながらも勉強を諦めず、他の目標に向かって進むことができた」と話した。
ユン氏は「野球を始める時は誰もがプロにも行き、大リーグにも進出できると信じているが、現実は厳しい」として「後輩たちに『あまり早く勉強をやめるな』と頼みたいのもこのため」と話した。
実際、学習権強化基調が時間が経つほど効果を示すという統計がある。
共に民主党の朴チャンデ議員に教育部から提出された資料によると、学生選手の最低学力未達率は着実に減少していることが調査された。
2017 年 17.7%だった最低学力未達率は 2018 年 14.2%、2019 年 14.5%、2020 年 13.3%、2021 年 10.9%で緩やかな下落傾向を見せた。
特に高校生選手の最低学力未達率は 2017 年 22.9%から昨年 12.8%に大きく低くなった。
朴議員は「未達率が次第に減っているが、依然として学生選手 10 人に 1 人以上は最低学力基準を充足させられずにいる」として「教育部と文化体育観光部などが学生選手学習権保障のための細心な政策を用意しなければならない」と話した。
関連部署は現場の困難は知っているが「学生選手は勉強しなければならない」という基調は変わらないと強調する。
教育部関係者は「種目を問わず運動で成功する学生は 10 人に 1 人に過ぎない」として「残りの 9 人の学生が立派な社会人に成長することを助けるためにも学習権保障に努めるほかはない」と話した。

エリートアスリートとして成功したとしても、30代半ばにはユニホームを脱がなければならない現実で、引退後、他の分野に進出するためには、勉強を一切やめてはならないということだ。
続けて「学習権保障とは単純に国·英·数など主要科目成績だけを言うのではなく、体験学習と修学旅行、級友との付き合いなど全般的な学校生活を意味する」とし「他の国家も基本授業に忠実にしながら体育活動を並行しているので私たちもそのような流れに歩調を合わせて進まなければならない」と付け加えた。
文体部関係者は「保護者と学生選手など現場意見を取りまとめて補完策を考えている」として「教育部と協議して出席認定制基準を現在より緩和し、授業欠損に対する補完策準備など多様な方法を来年適用する」と明らかにした。
出典：https://www.yna.co.kr/view/AKR20221028134000501?input=1195m

## 02 スポーツ朝鮮 2022.10.30
## 「勉強する保護者=最高のペースメーカー」選手保護者アカデミー

**「私は君のペースメーカー」**

29日午後2時、ソウル松坡区の韓体大合同講義室、大韓体育会「選手保護者アカデミー」5回目の授業が行われた。 今年大韓体育会が初めて始めた「選手保護者アカデミー」は8月慶北慶州花郎村1～2回目を皮切りにソウルフットボールファンタジーウムで3回目、9月大田青少年ウィキャンセンターで4回目まで計261人の保護者が参加した。 同日の5回目の授業には、口コミを聞いて駆けつけた80人あまりのソウルの保護者が集まった。 晩秋の土曜日の午後,陸上,水泳,フェンシング,サッカー,テニス,ビリヤード,サイクル,セパクタクロなど多様な種目の学生選手の子供を持つ保護者たちの学究熱が熱かった。

**選手保護者の疑問を解消してくれる「双方向」アカデミー**

1部は泰陵選手村医務室長出身のキム·ウングクSRCリハビリ病院長（韓体大兼任教授、国際スケート連盟医療監督官）が選手たちの基本的リハビリおよび負傷管理法について講演した。 保護者たちは「前方十字靭帯破裂予防のためにハムストリングを強化しなければならない」という助言、「負傷時に氷療法が重要だが、一日10～20分、2～4回と短くしなければ効果がない」という実質的なヒントなどを熱心にメモした。
2部では韓国体育大学社会体育学科のユン·ヨンギル教授が「運動選手の心理的支持」を主題に講義を続けた。 2015年カナダ女子ワールドカップ（W杯）のユン·ドクヨホ（初ベスト16)、2018年ジャカルタ対パレンバンアジア大会のキム·ハクボムホ（金メダル）の現場メンタルコーチを務めた経験と多様な事例を紹介した。 「『高1』のフィギュア選手が負傷後、競技力が出ないと悩んでいた。 『そこが君の競技力であることを認めた瞬間、反騰が始まる』という話をしてくれた」「両親もどうか結果から自由になってほしい。 競技をする理由は練習したことを使ってみて、もっと成長するためだ。 子供がどんな成長の傾きを持っていくかが最も重要だ」という助言に「あ～」と共感の傍聴客の反応があふれた。
選手父母アカデミーの最大の特徴は「双方向疎通」だ。 講義は20分と短く、現場質疑応答は40分と長く編成した。 「子供が偏平足なのでインソールを敷いてあげなければならないでしょうか?」「冬になると足首を怪我するのは理由があるでしょうか?」「子供競技場に行った方が良いでしょうか、行かない方が良い

でしょうか?」保護者の質問があふれた。 「子供が試合前に緊張するのですが、どんなルーティンを作ってあげればいいでしょうか？」という質問にユン教授は「緊張の理由は勝つか負けるか分からないが、勝たなければならないからだ。 不確実性が大きくなると緊張する。 ルーティンより試合開始後に何をするか具体的な目標を定めなければならない。 目標があれば緊張する暇もなく、試合の 20%が過ぎれば緊張感は自然に消える」と助言した。

9 日、蔚山全国体育大会セパクタクロ女子高校部優勝チーム「新興名家」昌文女子高校保護者三銃士、「3 年生チョ· ソヒョン母」イ· ボクスン氏、「キム· ヨンウ母」パク· ミヨン氏、「2 年生チャン· ウンソ」母親チェ· ミソン氏も共にした。 「うちの学校のハン· イルヒョン監督が情報をくださって一緒に申請した。 子供を理解するのに大いに役立った」と口をそろえた。 チェ· ミソンさんは「子供が脊椎側湾症があるが、サーブを入れる『テクコン（サーバー)』だ。 片側運動なので悪化し続けるのではないかと心配だ」と悩みを打ち明けた。 キム· ウングク院長は「女性の場合、中 3 になると骨の成長が止まる。 高校生なら側湾症の進行もある程度止まるだろう」とし「本人が携帯電話に側湾症の写真を載せ、自ら自分の体の状態を知って管理することが重要だ」と答えた。 チェ氏は「院長の返事に安堵した」とし「子供の負傷、痛み、リハビリに役立つ情報をたくさん学び、心理的な部分、進路情報について勉強できてとても良かった」という感想を伝えた。

**保護者 50 人中 45 人「子育てに役立った」**

選手父母アカデミーの座長としてプログラムを率いてきたユン教授は、特別なやりがいを伝えた。 10 年前、大韓サッカー協会とともに選手の親アカデミーを始めたユン教授は、「情報の非対称性が大きい。 私たちには多くの情報があるが、保護者は情報があまりにもない。 現場経験が豊富な専門家たちが両親と直接疎通することは非常に良い試み」と話した。 「保護者に必要な情報を与えることが体育界を健康に成長させること」と強調した。 「親が栄養、進路、リハビリ、メンタルなどについて正確な知識と情報を持っていなければならない。 親が正確な情報を持ってこそ、選手と指導者の間でバランスを取ることができる。 華やかな事業も多いだろうが、このような教育分野に予算をさらに多く再分配することも考えなければならない」と話した。 ユン教授は「最も重要なのは保護者が指導者と子供を信じること」とし「信頼の中で子供たちに必要な情報を持って正確な助けを与えなければならない。 そのためには今日のような窓口が必要だ。 もっとたくさん要求して参加して勉強してほしい」と話した。

大韓体育会のキム· ジョンミ教育福祉部長は「選手の両親アカデミーは今年初めて始めた事業だが、両親の熱意がすごい」とし「学生選手にとって最も重要な人は保護者だ。 国家代表まで行く選手ではない普通の選手の場合、保護者のモチベーションと情報、進路を導く部分はさらに重要だ。 今後持続的、発展的な方向で事業を継続する」という意志を伝えた。

2 時間半余りの熱い「双方向」講演後、オープンチャットルームを通じた満足度調査、保護者たちの呼応は期待以上だった。 「選手の親アカデミープログラムに満足している」項目で回答者 50 人中 44 人が「非常にそうだ」と答えるなど 50 人全員が肯定的に答えた。 「子育てに役立った」という項目に 45 人の保護者が「非常にそうだ」と答え、「今後も引き続き進行してほしい」という項目にはなんと 47 人が「非常にそうだ」と答えた。

親は世の中のすべての選手にとって最高の「ペースメーカー」だ。 「2022 選手保護者アカデミー」最終 6 回目の授業は全州に行く。 来月 5 日午後 1 時 30 分から 3 時 50 分まで全北大学で行われる。

出典：
https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202211010100000360015819&servicedate=20221031#rs

## 03 京畿日報 2022.11.03

### ［不正腐敗に傷つく子供たち］
### 「現金封筒疑惑野球部監督、上納がなければ生徒訓練差別」

平沢市のある高校野球部監督が、自分に金の封筒を渡さない保護者の子供を差別したり、露骨に上納を要求してきたという証言が出た。 彼は保護者からお金の封筒を受け取ったり、コーチたちに支給された公費を自分の通帳に振り込んでもらったのはもちろん、子供たちが飲むミネラルウォーターなどを高い価格であっても、自分の息子名義の無人商店で購入したという疑惑(京畿日報 10 月 28 日･11 月 1 日付 4･6 面)を受けている。

3 日、複数の保護者によると、ラオン高校野球部所属のある保護者は、「学校を訪れ、封筒を渡さなかったという理由で、子どもが監督 A 氏から露骨な差別待遇を受けた」と主張した。 彼は「ポジション別に数人の選手がいるので組を組んで指導をするが、ずっと B 君だけ指導をせずにおかれた」として「後で監督が普段親しい人物を通じて『B 君の両親は挨拶にも来ない』という話をしたと言って、このような事実を知ることになった」と悔しさを爆発させた。 この保護者は「子供が我慢して我慢して『監督がずっと私だけ差別するので野球をしたくない』と涙まで流した」として「どのように指導者が子供を指導しながらそのようなやり方で行動できるのか、1 人デモでもしたい心情」と吐露した。

野球部出身の卒業生の保護者は「うちの子供が学校に通う時も名節や先生の日のような時に両親同士でお金を集めて当時の保護者会長を通じて渡したり直接お金を渡したりした」とし「キャンプ訓練のような訓練シーズンには子供をよく見てほしいという意味で数百万ウォンずつを渡したりもした」と主張した。彼は「うちの子と似たような実力の子がいたが、大会前に誠意を示すように言われてお金を渡したらうちの子だけが試合に出て、その子は（エントリーから）除外された」と証言した。

保護者たちは A 氏が野球選手出身で、京畿道内で他の高校野球部監督などを務めたこともあり、野球界で影響力のある人物であるため、彼の要求を拒否できなかったと説明した。 また別の保護者は「子供たちの間で似たような実力なのに、特に出場をよくする子供がいれば『あの子たちはどれほど(たくさん)出したのか』という話をすることになる」と反問した。

これに対して A 氏は先月の面会当時、「保護者から一銭も受け取ったことがない。 絶対にお金を受け取っていない」と話した後、この日は電話を切って携帯メールなどの連絡を受けとらなかった。

京畿道教育庁関係者は「私立学校内の一般コーチは学校で懲戒決定などをしなければならない事案であり、学校現場を訪問し関連手続きを詳細に案内した」として「学校体育小委員会を通じて現場および聞き込み調査などを行い懲戒が必要だと判断されれば教育公務職人事委員会を通じて懲戒レベルを決めることになる」と説明した。 続けて「これとは別に監査官室で関連資料などを土台に監査開始可否も検討している」と明らかにした。

出典：https://www.kyeonggi.com/article/20221103580136

## 04　SPOTV　2022.11.04

### ボート部コーチ、1年6ヵ月懲戒無効　裁判所「釜山市体育会懲戒権乱用」

釜山市体育会が釜山D高校ボート部Aコーチに下した資格停止懲戒が無効処理された。 裁判所は「懲戒権乱用」を理由に挙げた。

釜山地方裁判所民事6部は9月懲戒量定が過度に重いとし懲戒処分無効を請求したAコーチの主張を受け入れ釜山市体育会スポーツ公正委員会の資格停止1年6ヶ月懲戒を無効判決した。

先立って釜山市体育会はAコーチに訓練費背任の疑いで資格停止1年6ヶ月重懲戒を下した。

Aコーチは該当処分に対する再審議を要請したが、大韓体育会スポーツ公正委員会は2020年10月再審申請を棄却した。

裁判所は「どんな懲戒処分を選ぶかは懲戒権者裁量に属するが、このような裁量は懲戒事由と処分の間、社会通念上相当だと認められるバランスの存在が要求される」とし「軽微な理由に苛酷な制裁を加えたと判断され懲戒権乱用として今回の処分は無効」と判示した。

裁判所は「Aコーチの行為の大部分が選手の訓練場移動を助ける過程で行われ、同種犯罪前歴がないという点と業務遂行過程で個人支出が繰り返され、これを補填しようとする経済的な理由が動機と見られる。懲戒権乱用」として原告勝訴判決を下した。

釜山市体育会が控訴を放棄し、Aコーチに対する1年6ヵ月の資格停止懲戒は無効処分になった。

AコーチはSPOTVニュースとの通話で「個人が体育会と戦うということは非常に難しいこと」とし「それだけ悔しく、誤った部分があって必ず正したかった。 善悪を判断できない体育会に残念な気持ちを感じる」と明らかにした。

「劣悪な環境に置かれている指導者たちは不当な待遇を受けても吐露するところがない。 最近、選手の人権に対する関心が高まり、処遇も改善されているが、指導者の人権と処遇改善には誰も関心を傾けていない。(十数年間) 何の発展もなく残念だ」と付け加えた。

体育界の事情に詳しいある関係者も「各市道体育会スポーツ公正委員陣の専門性向上の努力が避けられない。 体育界の事案を扱う時、是非を判断できる専門性を強化する必要があり、これは多くの体育人の共通した願い」と強調した。

出典:https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=561196

## 05　スターニュース　2022.10.26

### NC「飲酒選手放出」の早い決断、選手の状況+社会的認識が考慮された

NCダイノスが飲酒運転事故を起こした控え外野手の金ギファン(27)を電撃退団措置した。 社会的雰囲気を考慮して強硬な決定を下した。

NCは6日、「酒を飲んだ翌日、運転で飲酒運転判定を受けた金ギファンに対して退団を決めた」と発表した。

球団によると、キム·ギファンは10月23日夕方、自宅で一人で酒を飲んだ後、翌朝出勤途中に接触事故を起こしたという。 現場に出動した警察が測定を実施し、飲酒反応が出た。 選手の要請により採血検査をした結果、去る1日に最終飲酒判定(血中アルコール濃度0.041%)を受けた。
韓国野球委員会(KBO)は6月、飲酒運転に対する懲戒を具体化した。 従来は単純摘発時50試合出場停止、3回以上発生時3年以上有期失格だったが、6月からは1回免許停止時70試合停止、3回以上発生時永久失格処分を受けることになった。
これによると、金ギファンは100日免許停止（血中アルコール濃度0.03%以上、0.08%未満）に当たる。
球団内部の懲戒制度が廃止されたため、70試合出場停止懲戒を履行すれば良い。 しかしNCは、金ギファンを放出させる劇薬処方を下した。
NC関係者はスターニュースとの通話で「2日、選手から該当事実の報告を受けKBOに品位損傷行為について申告した。 その後、被害者状況などを確認した後、最終的に放出決定を下した」と経緯を説明した。
また「飲酒運転に対する社会的認識が強化された状況でこれを反映した」と話した。 去る2018年、故ユン·チャンホ氏事件以後、飲酒運転に対する処罰が大幅に強化され、KBOでもカン·ジョンホ氏(35)が3回の飲酒運転摘発後にも復帰を試みて阻まれたことがあった。
NCは昨年夏、遠征宿舎COVID-19防疫規則違反事件を皮切りに、今年5月にはコーチングスタッフ間の飲酒暴行事件が起きた。 これに対しNCは、李ドンウク監督を電撃更迭し、強いメッセージを伝えた。 今回の事件も同じだと言える。
金ギファンは現在、リハビリ組に属している状況だ。 体調を引き上げなければならない時期に飲酒運転事故を起こしたということは球団の立場では容認し難いことだった。 これに対し選手本人も責任を痛感し、結局球団でも強硬な措置を取ることになったのだ。
2015年、三星に入団した金ギファンは、2020シーズンを控え、2次ドラフトでNCユニホームを着た。 彼は昨年62試合で15盗塁を成功させ、代走者として良い活躍を見せた。 これに対し、今季を控えては李ドンウク監督がテーブルセッター（訳注：選球眼がよく四球をよく選ぶため出塁率が高い）の起用を考慮した。
今年も73試合に出場してチャンスを得た金ギファンは、8月中旬から腰の負傷で試合に出場できなかった。 そしてシーズン終了後、飲酒運転事故を起こし、ついにチームを離れることになった。
出典：https://star.mt.co.kr/stview.php?no=2022110614413529095

## 06　週刊スポーツニュース

女子スポーツ選手の年間収入… ゴルフのコ·ジンヨン、118億ウォンで6位
https://www.chosun.com/national/people/2022/11/05/BMLYPUPIJRFSLPO3PIFPY7HWZ4/?utm_source=naver&utm_medium=referral&utm_campaign=naver-news

セントナイン、ゴルフ有望選手育成のためのジュニア選手団募集
https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202211011438003&sec_id=530201&pt=nv

太白高地帯スポーツ訓練場特区を2025年まで3年延長
https://www.yna.co.kr/view/AKR20221103059000062?input=1195m

ウ·サンヒョク、体育記者たちが選んだ「今年の選手」
https://www.donga.com/news/article/all/20221107/116343449/1

大韓障害者体育会、ウィー・ザ・フィフティーン(#WeThe15)ショートフォーム公募展を実施
https://isplus.com/2022/11/01/sports/sportsgeneral/20221101111406487.html

「第2のヤン·ハクソンのような世界的な選手を育てる」
https://www.jnilbo.com/view/media/view?code=2022110314400830632

「学生選手の特技を生かす教育インフラが必要」
http://www.jndn.com/article.php?aid=1667292513347828011

[青少年寄稿]全国体育大会学生応援団参加レビュー「一つになった私たち」
http://www.ksilbo.co.kr/news/articleView.html?idxno=951897

プロの狭い門を越えられなかった「野球未生」再挑戦の機会を
http://www.incheonilbo.com/news/articleView.html?idxno=1168453

# 体育市民連帯オンライン　定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

**私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と**
**福祉実現のために努力しています。**
**皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための**
**体育市民連帯活動に強固な土台となります。**
**体育市民連帯会員として力になろうと**
**される方は下の口座に後援お願いします。**

**国民銀行　086601-04-095940**

**口座名義：体育市民連帯**

**オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。**

**多くの関心をお願いします。**

INFOMATION
体育市民連帯　ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路230 スンジョンビル407号
Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net　ホームページ：　http://www.sportscm.org/
日本語訳：佐藤好行　新日本スポーツ連盟　国際活動局　韓国担当　jr1fep@gmail.com
週刊ニュースレターバックナンバー（資料室）　http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html